

令和4年度事業報告 (1号議案)

“豊中駅前を将来に夢が持てるまちに！”をスローガンとして掲げ、協議会の再生を念頭に、豊中駅前が住み続けたい、訪れたい魅力あるまちであることを目指し、幅広い年齢層が集まり、それぞれが持つ技能、知識や知恵を出し合い、ともに考え、自分たちに合った取り組みを継続的に行うことを計画しました。

そのような活動を踏まえ、まちの将来を担うひとたちの集まりが生まれ、世代交代が進み、地域をリードする団体としての協議会の再生を図っています。

令和4年度においては、「まちで共に生きる」を優先テーマとして、まちなかでの交流を活発化し、地域の結びつきを強くする取り組みを推進すべく、以下の事業を行いました。

【1】「共に生きるまちの広場になる！」ための活動

①「Zoom」の活用（まちづくり講座・オンライン井戸端会議）

- ・コロナ禍で、集合しての活動がままならない中、Zoomを活用し、豊中市のご協力を得て、まちの歴史、防災などの「まちづくり講座」を4月から6月にかけて開催し、幅広い年齢層の方などに“まちの課題”への気づきを高めて頂けるよう活動しました。
- ・特にテーマを掲げず、まちの様々な課題などをフランクに語り合えるオンライン井戸端会議を7月から3月までに9回開催しました。

②情報双方発信 情報交換の場

- ・ホームページでは、協議会の紹介、まちづくりニュースの掲載、協議会が企画する催し、関係する団体のイベントなど情報発信を行うとともに、まちやまちづくりの問い合わせや情報提供を常時受け付けています。

<https://toyonaka-machikyo.com/>

③みんなでまちの将来図を描く（3か年計画）

- ・学識経験者を招いての講演や、出席者によるワークショップなどを通じて“居心地の良い 歩きたくなるまち:ウォークブルなまち”の実現を考える勉強会を本年1月から3月までに3回催しました。

【2】みんなで育てるまちづくり

① まちに花や緑を育てる「花のまちづくり」

- ・まちに安らぎと感動を感じてもらえるよう、豊中本町北交差点近く、一番街入り口の“こもれびガーデン”を中心に、三井住友銀行前、りそな銀行前などの花壇で花を育てています。
- ・大池小学校の生徒さんの授業を通して花づくりの指導やお手伝いを行っています。
- ・花のお手入れをするメンバーが10名に増え、ますます充実しました。

② 「ゆっくり楽しく歩きたくなるまちづくり」の継続

- ・けやき通り(ホテルアイボリーに面した通り)沿道において 相次いでマンション建設が計画されていることに関して、施工者とは安全な歩行空間の確保、歩いてみたくなる通りづくりを求めて協議を重ねました。
また、豊中市長へ周辺の住民の方々から集めたアンケートを基に、安全な歩行空間の確保、駅の北の玄関口としての整備を求めて「要望書」を提出しました。
- ・スクランブル交差点の改良工事に関する大阪府の動向に注目し、安全性の飛躍的向上を確保できるよう働きかけています。

③ 豊中市の「豊中駅周辺再整備構想」が滞りなく進展するよう注視し、着実に実現するよう働きかけています。

④ その他

- ・豊中高校の文科課題研究を通じて協議会活動との連携を図りました。
- ・11月15日の「きものの日」にちなみ、着物姿でまち歩きイベントを開催し、定例化を図っています。